

# VDI 版 Cisco Jabber Softphone のリリース ノート- HP Thin Pro および Ubuntu リリース 12.7

初版 : 2019 年 9 月 9 日

最終更新 : 2019 年 9 月 11 日

## 12.7 のビルド番号

Version	ビルド番号
JVDI エージェント リリース 12.7	12.7.0.288594
JVDI クライアントリリース12.7	12.7.0.288594

## VDI 版 Cisco Jabber Softphone の新情報- HP Thin Pro および Ubuntu リリース 12.7

### Cisco Jabber のサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、次の Windows 版 Cisco Jabber リリース12.7 の新機能をサポートしています。

- BOT サポート
- 単一回線の電話番号またはラベルを表示
- Extend & Connect のコール プロGRESS インジケータ
- チャット ルームは、参加者リストの可視性を維持する
- Cisco Webex Control Hubを介してクライアントを構成する
- [電話の会話 (Call Conversation) ]ウィンドウの[デバイス選択 (Device Selection) ]メニュー
- セキュリティ ラベルの強化
- コンテンツ管理設定(ECM)サポート
- People Insights
- Office 365 の移行認証通知の改善
- ボイスメールの改善

- 現代的なデザイン
- 更新トークンの OAuth 処理
- OAuth サインアウト動作
- オンデマンド レコーディング
- 非 Jabber アクティビティに基づくプレゼンス
- プロキシ認証サポート
- 引用メッセージ
- Themes

Cisco Jabber の新しい機能の詳細については、『*Release Notes For Windows 版 Cisco Jabber*』(<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/jabber-windows/products-release-notes-list.html>) を参照してください。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone でサポートされていない Cisco Jabber 機能のリストについては、[Cisco Jabber の機能 \(8 ページ\)](#) を参照してください。

## CTI フェールオーバーのサポート

CTI フェールオーバーのサポートが追加されました。フェールオーバーが発生すると、ある Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ から別のへと、Cisco Jabber Windows では電話機の機能が維持されます。

## ヘッドセット設定パラメータ

このリリースには、ヘッドセットの選択を制御するための新しいパラメータが含まれています。デフォルトでは、新しいヘッドセットを接続すると、Cisco Jabber によって優先順位リストの先頭に追加されます。これは、一部のホットデキング環境の問題です。ユーザがシンクライアントとヘッドセットを移動すると、組み込みマイクが優先デバイスになります。このパラメータを設定して、ユーザのヘッドセットが優先デバイスのままになるようにすることができます。

このパラメータは、VDI 版 Cisco Jabber Softphone (すべてのプラットフォーム) にのみ適用されます。

このパラメータを使用して、Cisco Jabber が新しいデバイスを上部に追加するか、または詳細設定のデバイス プライオリティ リストの一番下に追加するかを指定できます。

- **PreferNewDevice** (デフォルト): Cisco Jabber は新しいヘッドセットをリストの上部に追加し、優先デバイスにします。
- **PreferOldDevice**: Cisco Jabber は、設定された優先デバイスに変更を加えずに、新しいヘッドセットをリストの一番下に追加します。

例：

```
<HeadsetPreferenceOnVDI>PreferOldDevice</HeadsetPreferenceOnVDI>
```

## Linux 64 ビットサポート

このリリースでは、次の 64 ビット プラットフォーム用に 64 ビットのインストールパッケージが導入されています。

- HP Thin Pro 7.1 SP3
- Ubuntu 16.04 (デスクトップ、AMD64)

## 多回線サポート

Cisco Jabber マルチライン機能のサポートが追加されました。複数回線は、複数の設定済み回線を持つユーザに対して、保留、転送、コール転送などの通話切替機能を提供します。マルチラインはビデオコールに対しても機能します。ソフトフォンモードで、最大 8 回線を設定できます。ユーザが **Mobile & Remote Access (MRA)** を使用して Cisco Jabber にアクセスする場合、プライマリ回線のみがサポートされます。

Windows 版 Cisco Jabber では、Cisco Hosted Collaboration Solution (HCS)、Cisco Packaged Contact Center Enterprise (PCCE)、Cisco Contact Center Enterprise (CCE) および Cisco Unified Contact Center Express (CCX) 11.6 (最大 4 回線) がサポートされています。詳細については、*Cisco Jabber* の機能設定ガイドを参照してください。

## ローミング プロファイル

仮想環境では、ユーザが常に同じ仮想デスクトップにアクセスするわけではありません。一貫したユーザー エクスペリエンスを保証するには、Cisco Jabber を起動するたびにプロファイルにアクセスする必要があります。ローミング プロファイルのサポートが追加されました。VDI 版 Cisco Jabber Softphone の Cisco Jabber はユーザ データを次の場所に保存します。

%currentuser%\AppData\ローカル\シスコ

- **連絡先**：連絡先キャッシュ ファイル
- **履歴**：コールとチャットの履歴
- **写真キャッシュ**：ディレクトリの画像をローカルにキャッシュ

%currentuser%\AppData\ローミング\シスコ

- **コンフィギュレーション**：ユーザ コンフィギュレーション ファイルを保持し、コンフィギュレーション ストア キャッシュを保存
- **クレデンシャル**：暗号化されたユーザ名とパスワード ファイルを保存

詳細については、*Cisco Jabber* のプランニング ガイドを参照してください。

## Citrix 仮想アプリとデスクトップ サポートの更新

Citrix 仮想アプリケーションとデスクトップは、以前は Citrix XenApp および Citrix XenDesktop と呼ばれていました。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.7 は、Citrix ベースの公開されたデスクトップ、共有デスクトップおよび共有アプリケーション(フルスクリーンモードと windows モード)をサポートしています。

## 一般的な要件

一般的な要件は、すべての VDI 版 Cisco Jabber Softphone プラットフォームに適用されます。



**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

### アクセサリ

推奨される音声およびビデオ アクセサリのリストについては、[http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html) の「*Unified Communications Endpoint and Client Accessories*」を参照してください。

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。Jabra Direct を使用してファームウェアを更新できます。

### Windows 版 Cisco Jabber

Cisco Jabber ホステッド仮想デスクトップ (HVD) で実行されている Windows 12.7 の場合。

仮想環境の互換性の詳細については、リリースの Cisco Jabber ドキュメントを参照してください。

### Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャ

推奨:CUCM リリース 11.5 (1) SU3 以降

最小値:CUCM リリース10.5

接続ブローカー: ホスト仮想デスクトップにインストールされます。

- Citrix 仮想アプリとデスクトップ (旧称 XenApp および XenDesktop) バージョン 7.x -7.1906 および 7.15 CU4 LTSR

共有デスクトップは、フルスクリーンモードでのみサポートされます。公開されたアプリケーションは、VDI 版 Cisco Jabber Softphone (Windows) の全画面モードでサポートされています。

- VMware ホライズン 6 バージョン 6. x-7.9

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。

- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

オペレーティング システム: ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows 7 (32 ビット)
- Microsoft Windows 7 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8 (64 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット)
- Microsoft Windows 8.1 64 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット)
- Microsoft Windows 10 (64 ビット)

サーバオペレーティング システム: ホスト仮想デスクトップにインストールされています。

- Microsoft Windows サーバ 2012 R2
- Microsoft Windows サーバ 2016 R2

#### ポート要件

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Cisco Jabberと同じポートと、次の追加のポート範囲が必要です。

表 1: ポートの使用

Port Range	説明
16384-32767	RTP の UDP インバウンドおよびアウトバウンドトラフィック (音声およびビデオストリーム)  このポート範囲を減らすように Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャを設定できます。CSF デバイスに関連付けられている SIP プロファイルの開始/停止メディアポートの設定を変更します。

#### サポートされるコーデック

##### オーディオ コーデック

- G.722
- G.722.1 (24 および 32k)

G.722.1 は Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ 8.6.1 以降でサポートされません。

- G.711 A-law
- G.711 u-law
- G.729a
- Opus

Opus は、Ciscoユニファイド コミュニケーション マネージャ 11.0 以降でサポートされています。

ビデオコーデック:H.264/AVC

## 要件: HP Thin Pro シンクライアント



**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

### HP ThinPro プラットフォームイメージ

32-bit: HP ThinPro 6.2

64-bit: HP ThinPro 7.1 SP 3.3 および 7.x バージョン

### HP Thin Pro シンクライアント: ハードウェア

HP Thin Pro 6.2 でテストされた次のクライアント ハードウェアを推奨します。

- HP t520
- HP t530
- HP t620
- HP t630
- HP t730
- HP mt21

次のクライアント ハードウェアを推奨します。これは、HP Thin Pro 7.1 SP 3.3 でテストされています。

- HP t430
- HP t520
- HP t530

- HP t630
- HP t730
- HP mt21

**接続ブローカー: HVD にインストールされます。**

- Citrix 仮想アプリとデスクトップ (旧称 XenApp および XenDesktop) バージョン 6.x、7.x ~ 7.1811 および 7.15 LTSR

公開されたアプリケーションと共有デスクトップは、フルスクリーンモードでのみサポートされます。

- VMware ホライズン 6 バージョン 6.x-7.7

接続ブローカーは、ホスト仮想デスクトップへの接続を作成するソフトウェアです。接続ブローカーは、次のような多数のタスクを実行します。

- ユーザ名を検証し、ユーザの接続を提供します。
- ユーザが特定の仮想デスクトップに接続できるようにします。

**Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアント: シンクライアントにインストールされています。**

HP Thin Pro イメージには、必要な Citrix と VMware のバージョンが含まれています。

Citrix Workspace app または VMware ホライズンクライアントは、対応する接続ブローカーのユーザインターフェイスを提供します。

## 要件: Ubuntu シンクライアント



**重要** このガイドに記載されているコンポーネント、バージョンおよび最小ハードウェア要件のみがサポートされています。サポートされていないコンポーネントを使用すると、展開が機能しなくなる可能性があります。

### Ubuntu デスクトップイメージ

- Ubuntu 14.04 32b LTS (i386)
- Ubuntu 16.04 64b-alpm LTS (AMD64)

### Ubuntu シンクライアント: ハードウェア

シンクライアントの最小ハードウェア要件は次のとおりです。

- インストール済み RAM 2 GB

- 物理メモリの空き容量 1 GB
- 空きディスク容量 256 MB
- CPU: AMD G-T56N 1.65 Ghz、または Intel Core2Duo T7500 2.2 GHz
- USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

**Citrix Workspace app** または **VMware** ホライズン クライアント: シンクライアントにインストールされています。

- Citrix Receiver 13.0 以降
- Citrix Workspace app 1808 以降
- VMware ホライズン ビュー クライアント バージョン 4.x および 5.x

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

## 制限事項

### コール制御アクセサリ

アクセサリコール制御(通話量の調整、電話の応答または通話の終了、音声のミュート)は、互換性のあるヘッドセットでサポートされています。他の一部のヘッドセットは基本的な機能を提供しますが、アクセサリ VDI 版 Cisco Jabber Softphone コール制御機能は使用できません。互換性のあるヘッドセットとその他のアクセサリの完全なリストについては、[https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html)を参照してください。

### コール保持

「存続可能性」とも呼ばれるコールの保持は、VDI 版 Cisco Jabber SOFTPHONE ではサポートされていません。ネットワークの中断が発生し、Jabber がコール保持モードになると、VDI ユーザに対してコールがドロップされます。

### Cisco メディア サービス インターフェイスとデュアル VLAN

Cisco Media Services Interface (MSI) およびデュアル VLAN は、このリリースではサポートされていません。

### Citrix を使用したリアルタイムの Webcam の HDX

VDI 版 Cisco Jabber Softphone カメラの HDX プラグアンドプレイはサポートされていません。Citrix カメラのインタラクションに HDX Webcam を使用することを推奨します。

### Cisco Jabber の機能

VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース12.7 ではCisco Jabber、次の点を除き、Windows リリース12.7 のすべての機能がサポートされています。



- アプリケーション共有 (Application sharing)
- [ハブ (Hub) ] メニューからのオーディオ デバイスの選択
- Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)
- カスタム連絡先の移行
- 遠端カメラ制御 (FECC)
- 連邦情報処理標準 140-2 (FIPS 140-2) および情報保証 (IA) のコンプライアンス
- 改善されたビデオ解像度
- Jabber 間コール
- Jabber デスク フォン ビデオ (シンクライアントがユーザのデスク フォンに接続している場合にデスクトップ上に表示されるビデオ)
- Kerberos および共通アクセス カード (CAC) とシングル サインオン (SSO)
- PreferP2PDesktopShare (Jabber 設定ファイルにある、ビデオ共有を介して人物間の画面共有を優先順位付けするための設定パラメータ)
- ワイヤレス画面共有

## リモート ディスプレイ プロトコルのサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、次のプロトコルのみをサポートしています。

- Citrix ICA
- VMware: PC を介した IP (PCoIP) および VMware ブラスト

## SIP プロファイル

Cisco ユニファイドクライアント サービス フレームワーク (CSF) デバイスを作成する場合は、デバイスの **SIP プロファイル** を指定します。SIP プロファイルでは、登録タイマーおよびキープレイズ タイマー、メディア ポート、サイレント制御など、電話機の特定の SIP 情報を提供します。



**重要** セキュア電話プロファイルを選択した場合は、Certificate Authority Proxy Function (capf) 認証モードを **Null 文字列** で指定しないでください。この設定は、Cisco ユニファイド コミュニケーション マネージャでの Jabber 登録が失敗するため、VDI 版 Cisco Jabber Softphone との使用はサポートされていません。

## VMware ビューでは、USB カメラ リダイレクションはサポートされていない

USB カメラリダイレクションは、VMware ビューではサポートされていません。

## VMware のサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone ディスプレイ スケーリング モードはサポートされていません。ユーザは [VMware Options] メニューを確認し、[ **Allow Display Scaling** ] がオフになっていることを確認する必要があります。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone フルスクリーン表示のみをサポートします。windows モードはサポートされていません。

## パフォーマンスと動作に関するメモ

### カメラのホットスワップ

VDI 版 Cisco Jabber Softphone では、通話の開始時にビデオの品質が設定されます。サポートされている HD カメラのいずれかで通話を開始してから、標準解像度のカメラに切り替えると、ビデオの品質が影響を受けます。カメラの切り替えは、通話と通話の間で行うことをお勧めします。

### Echo Cancellation

エコー キャンセレーションは、音声コールに対してのみ有効になります。

### Jabra ファームウェア

すべての Jabra デバイスが最新のファームウェアを実行していることを確認します。You can use Jabra Direct to update the firmware. 詳細については、<http://www.jabra.com>を参照してください。

### ビデオ コーデックのパフォーマンス

ソフトウェアのデコードは CPU に大きく依存します。下位の Cpu を使用した Cisco JVDI Client の推定 cpu 使用率は次のとおりです。

- 1.5 ghz、デュアル コア CPU: 65%(55 to75%)
- 1.5 GHz、クアッドコア CPU : 35% (25~45%)

組み込みのハードウェア デコーダを搭載したカメラを使用すると、CPU の負荷が軽減されます。

## 不具合

### バグの重大度レベル

既知の障害またはバグには、障害のプライオリティを示す重大度レベルが設定されています。これらのリリース ノートには次のバグ タイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重要な重大度レベル 3 のバグ。

- シビラティ 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべての不具合

重大度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策はあります。  ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

## バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

### 手順

- 
- ステップ 1** バグ検索ツールにアクセスするには、 <https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。
- ステップ 2** 自分の Cisco.com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
- ステップ 3** 特定の問題の情報を検索するには、**[検索 (Search for)]** フィールドにバグ ID 番号を入力して **[入力 (Enter)]** を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
- 

## リリース 12.7 で未解決の問題

このリリースに未解決の問題 (バグ) はありません。

## リリース 12.7 で解決済みの問題

警告 ID 番号	重大度	説明
<a href="#">CSCvq22868</a>	3	VDI の Windows 用 Jabber のリダイレクトされたコールの発信者 ID 表示
<a href="#">CSCvq59211</a>	3	[VMware]JVDI ソフトフォンが再接続されません
<a href="#">CSCvr15121</a>	3	Jabber HVD は Exp-E 証明書を検証できません
<a href="#">CSCvp95567</a>	6	[電話の会話 (Call Conversation) ] ウィンドウの [デバイス選択 (Device Selection) ] メニュー

---

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.